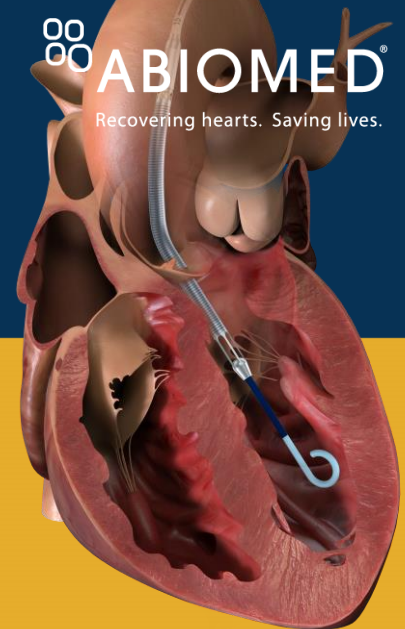


Interventional Heart Failure Therapy Case Club



内科的にも外科的にもストラテジーに悩む症例 ～ Impella は血行再建のアプローチを変えるのか？ ～

Case Presenter



大瀧 陽一郎 先生

山形大学
循環器内科

Guest Commentator



堂前 圭太郎 先生

大阪警察病院
心臓血管外科

日時

2022 年 3 月 23 日 (水)
18:30 – 19:45

会場

Zoom ウェビナー
(事前登録制)



Director



絹川 弘一郎 先生

富山大学



上妻 謙 先生

帝京大学



佐藤 直樹 先生

かわぐち心臓呼吸器病院

Moderator



朔 啓太 先生

国立循環器病研究センター研究所



中田 淳 先生

日本医科大学

※ 本ウェビナーは、医療従事者を対象とした事前登録制セミナーです。上記の二次元バーコードから事前参加登録・申し込みをお願いいたします

※ 視聴用URLなどの情報は、お申し込み確認後に、別途メールにてご連絡いたします

本ウェビナーに関するお問い合わせ

日本アビオメッド株式会社 マーケティング japan_marketing@abiomed.com

販売名: IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル
承認番号: 22800B2I00032000

一般名称: 循環補助用内留置型ポンプカテーテル
医療機器クラス分類: IV 高度管理医療機器
特定保険医療材料機能区分: 193 補助循環用ポンプカテーテル

選任製造販売業者: 日本アビオメッド株式会社
外国特許承認取得者: ABIOMED, Inc.

販売名: IMPELLA 制御装置
承認番号: 22800B2I00031000

一般名称: 循環補助用内留置型ポンプカテーテル用制御装置
医療機器クラス分類: III 高度管理医療機器/特定保守管理医療機器

Interventional Heart Failure Therapy Case Clubのご案内

Impella は、心原性ショック等の薬物療法抵抗性の急性心不全を適応として、現在、既に4,000例を超える国内症例経験が蓄積されています。Impella は救命と心機能回復を目指して、様々な急性病態に使用されていますが、他の治療やデバイスと組み合わせることによって、より強力な血行動態の是正や救命が可能となる症例も存在します^{1,2}。重症化の一途をたどる心不全医療において、既存の内科的・外科的治療と Impella をはじめとした最新デバイスを組み合わせる Interventional Heart Failure (IHF) Therapy は患者の予後改善とQOL向上に必要な不可欠となると考えられます。Impella を含むIHF Therapyの達成には、心不全治療、冠動脈・ストラクチャーインターベンション治療、循環器集中治療、外科的治療、機械的補助循環治療、循環生理学など、様々な領域の専門性が求められ、その知識や経験の蓄積は容易ではありません^{3,4}。本ウェビナー (定期開催予定) では、各専門領域のエキスパートをお迎えして IHF Therapy の実践例をディスカッションすることで、Heart Recovery に取り組まれている医療従事者の皆様にとってよりよい IHF Therapy 提供の一助になればと考えております。

1. Sobajima, Kinugawa, European Heart Journal-Case Reports, 2020. doi.org/10.1093/ehjcr/ytaa418
2. Iida, Artif Organs, 2019 Aug;43(8):806-807. doi:10.1111/aor.13434.

3. Panhwar, J Am Coll Cardiol, 2020 Jun 16;75(23):2984-2988. doi:10.1016/j.jacc.2020.05.010.
4. Kapur, J Am Coll Cardiol, 2020 Jun 16;75(23):2987-2988. doi:10.1016/j.jacc.2020.05.011.